



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年11月29日



ヤマキウ南倉庫前にて記念撮影

公共施設等視察会が10月7日(月)に行われ、西理事長他組合員ら13名が参加し、秋田県にある「亀の町のまちづくりストア」等を視察した。亀の町ストアは秋田市のデザイン事務所(株)See Visionシービジョンが同市亀の町にある築50年の3階建てビルをリノベーションし、1階はコーヒースタンド&デリ、2・3階はオフィスとして2015年にオープン。1階の店舗は曜日・時間帯関係なく盛況だ。

隣接するヤマキウ南倉庫も、同社が築43年の2階建て倉庫をリノベーションし、今年の6月にオープンしたばかり。1階・中2階には食料店や家具店等、こだわりの品を取り扱う10のショップが入る。また、2階には設計事務所など6つのオフィスが入居する他、コワーキングスペースも併設され一般の利用も可能である。同社は他にも同エリアに中古物件をリノベーションした飲食店を3店舗出店。これにより人の往来が増えエリア全体



五城目町地域活性化支援センター

に賑わいが生まれ他の事業者も集まるようになり、空き物件が0になった。視察会では他にも秋田市から北に30キロの位置にある「五城目町(ごじょうめ)地域活性化支援センター」を訪問した。同センターは閉校した小学校の校舎を町がリノベーションし、起業やコミュニティ活動などを実施する事業者を支援する施設として2013年10月に開設。現在は(一社)ドチャベンジャーズに運営が引き継がれ、デザイン、WEB、コンサルティング、ドローン、美容室など幅広いジャンルの企業11社が入居。入居者同士での協業や、入居者を中心となったイベントの開催などで町の活性化につながっている。

このたび、問屋町会館前交差点の信号機がリニューアルされた。今回の信号機の入替えは青森警察署が実施。電球タイプからLEDタイプに更新されたことで、信号機がより見やすく生まれ変わった。今回のリニューアルに合わせて、これまで未整備であった同交差点の枝線道路横断歩行者専用信号機が新設。昨夏オープンした信号機が進出し



リニューアルで明るくなった信号機



合同企業セミナー (青森公立大学)



合同企業セミナー (青森大学)

たことにより通行量が増加した同交差点の安全対策が図られた。

リノベーションによる町の賑わいづくりを学ぶ 公共施設等視察会

県内の5つの卸団地で運営する青森県流通団地連絡協議会では、10月2日(水)に青森公立大学、10月11日(金)に青森大学で秋季合同企業セミナーを開催。両大学合わせて約250名の学生が参加した。組合員企業20社あまりが設けた企業ブースでは、学生達が説明内容をメモしたり熱心に質問するなどして理解を深めていた。参加した組合員企業の担当者は、「学生との接点を増やす事は非常に重要だと思うので、是非この取り組みを続けてほしい」と、事業の継続開催を望む声も寄せられた。組合では引き続き、卸団地そのものや組合員企業の知名度向上、採用機会の拡大を目的に共同求人活動に取り組んでいく。

合同企業セミナー開催

会館前信号機リニューアル

組合員の隣地買増等について承認
第5回理事会

第5回理事会が10月28日(月)に開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、2019年度決算予想や青森県流通団地連絡協議会第33回通常総会の開催について報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一：組合員の隣地買増について
案件二：2019年度第6回理事会の日程等について

街頭指導で安全運転呼びかけ
青森交通安全協会問屋町支部

先日、問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日を達成した青森交通安全協会問屋町支部では、10月29日(火)に今年度最後となる第4回交通安全街頭指導を実施した。

寒風吹きすさぶ中で行われた同活動には、同支部会員73名の参加に加え、八甲田交番から警察官2名も立ち合っている。八ツ役五又路交差点において「信号待ちするドライバーに「信号のない横断歩道の歩行者優先」を呼びかけるチラシを手渡した。また合わせて



ドライバーにチラシを手渡し

健康づくりの第一歩 集団健康診断を実施
組合では10月8日(火)から11日(金)までの4日間、問屋町会館2階大会議室において今年度2回目となる集団



横断幕を掲げ安全運転呼びかけ

健康診断を実施した。同健康診断は組合員だけでなく隣接する中央卸売市場も合わせ、342名もの従業員が受診した。
今年度の集団健康診断は2回で計604名が受診。また「問屋町地区健康診断」と銘打った一般向けの健康診断も3回実施され、57名が健診を受けた。

問屋町会館で実施する健康診断では、通常の定期健康診断に加え全国健康保険協会(協会けんぽ)の生活習慣病予防健診も受診可能。専用バスにて胃部レントゲン検査も行う。また、採血による腫瘍



集団健康診断

RPAについて学ぶ
組合員昼食会
10月3日(木)に問屋町会館1階会議室にて組合員昼食会が開催され、組合員ら44名が参加した。
はじめに「RPAで普段パソコンで行っている定型業務を自動化しよう」をテーマに、ピー・シー・エー(株)東北営業所の三宅所長が説明した。
三宅所長は「RPAとは、普段パソコン上で行っている業務の自動化のこと。全ての仕事自動化出来るわけではなく、ロボットに任せる事が出来る定型作業のみをRPA

化する。RPAの導入だけでは自動化はできず、業務整理や手作業など標準化されていない業務の一部システム化が必要となる。RPA製品の「CELFSelf」はWebアプリ開発機能とRPAが融合した唯一の業務効率化ツールで、簡単な画面操作により自分で作成し保守もできる」とPR。RPA化を検討するにあたり重要なこととして、「優先度の高いものなのか担当者にか出来ないものなのか、まずはすべての仕事を当てはめてみる。その結果、不要な仕事と判断されたものは時に捨てることも大切」とアドバ

イスした。
続いて組合員の㈱マキュレより取扱い商品について紹介が行われた。
同社の若木氏は「当社を代表する『りんご茶』は青森県産りんごをまるごと使用しており、実と皮を乾燥、焙煎した完全無添加の製品。他にも、りんごそのもののおいしさがつまった『林檎けんぴ』、鹿児島産の大麦若葉や青森りんご、青森プロテオグリカンを使った飲みやすい青汁『AO+エネルギー』などを製造販売している」と紹介。
今年4月には第二問屋町にある同社内に『マキュレハウ



組合員昼食会

ス」をオープン。「マキュレハウスでは当社製品を体感でき、りんごを使った焼き菓子などの商品も提供している。スイーツギフトなども取り扱っており、気軽に立ち寄ってほしい」と話した。

株式会社 **アイサイン**

●デザイン ●カラム ●モニュメント ●シルクスクリーン

【本社】
TEL 0172-62-5508 FAX 62-5516
〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢字西花園82-1
URL <http://www.ai-sign.com>

【問屋町事業部】
TEL 017-729-8787 FAX 729-2099
〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目2-12

オフィスの総合ソリューションをご提案いたします

OA 機器 システム機器 オフィス家具 事務用品 ウォーターサーバー

株式会社ヒグチ
HIGUCHI

青森市問屋町 1-15-22 ☎017-738-3661
<http://higuchi2014.com/>

問屋町たんしん

〔2020年組合員新年会〕

日時 2020年

1月10日(金)

午後6時～8時

場所 ホテル青森

3階「孔雀の間」

会費 1人 3,200円 (税込)

※複数での参加可

2019年

12月13日(金)

組合員新年会についてのお

問い合わせ、お申し込みは卸セ

ンター総務部(☎73814

71)まで。

業務報告

…主要事項…

10月

2日▽県流通団地連絡協議会

合同企業セミナー

(青森公立大学)

3日▽組合員昼食会

▽東北・関東甲信越卸商

業団地連絡協議会交流会

(～4日)

4日▽インタウンシップ導入

支援プロジェクト第2回

勉強会

7日▽公共施設等視察会

▽県中小企業組合士会総会

8日▽第2回集団健康診断

(～11日)

10日▽第7回問屋町合同清掃

▽第3回問屋町従業員モ

ニター会議

11日▽県流通団地連絡協議会

合同企業セミナー

(青森大学)

15日▽金融審査会

16日▽安協問屋町支部第2回

役員会

20日▽第3回緑のボランティア

ア隊

28日▽第5回理事会

29日▽安協問屋町支部第4回

街頭指導

▽インフルエンザ集団予

防接種(1日目)

31日▽安協問屋町支部交通安

全グッズ寄贈式

(荒川小学校)

…問屋町

ビジネススクール…

3日▽総務届出実務

10日▽給与実務のポイント・

社保税金編①

15日▽給与実務のポイント・

社保税金編②

17日▽給与実務のポイント・

社保税金編③

24日▽働きやすい職場づくり

一建設から暮らしまで
カクヒロ 灯油・LPGのご用命は当社へ

(株)角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10
TEL017-762-3866

ENEOS EneJet DOUTOR

青森市第二問屋町4-10-26
EneJet問屋町SS

TEL 017-762-1676
ドールコーヒョップEneJet問屋町店
TEL 017-729-1470

Advertisement for ENEOS EneJet DOUTOR fuel stations and services.



Advertisement for Tohoku Chemical Co., Ltd. featuring various chemical products and services.

研究分野の試薬・消耗品・機器トータルソリューションを提供する



東北化学薬品株式会社

バイオインフォマティクス

臨床検査試薬

化学工業薬品

農業資材

食品

- List of branch offices and contact information for Tohoku Chemical Co., Ltd.

東北化学薬品株式会社
TOHOKU CHEMICAL CO., LTD.

TEL 0172-33-8131 FAX 0172-33-6800
http://www.t-kagaku.co.jp/
〒036-8655 弘前市大字神田一丁目3番地の1

森商工会議所が協定を結び、

産官学連携プラットフォーム

を形成した。昨年から本格的

に活動を開始し、共同での学

生募集や若者向け企業セミ

ナーの開催、共同での公開講

座の開催、食育検定をはじめ

とした健康・

福祉の増進、

共同研究など

に取り組んで

いる。

この中で、

昨年「6大学

生の消費活動による経済効果

の推計」をテーマに取り組ん

だ共同研究についてご紹介し

たい。各大学等の1年生を対

象に、住居費、食費、交通費

などの消費額のアンケート調

査を実施し、その結果を基に

各大学等の年間消費額を推

計し、県内に生じる直接効

果と間接波及効果を含まれた

経済効果を試算した。その

推計結果は、直接効果が約

25億円、間接効果(生産誘

発額)は約35億円となった。

また、6大学等の学生数は

約4,800名となっており、こ

れらの学生が居住し

消費することで、地域経済

に相当な経済効果をもたら

近年、大学を取り巻く状

況の中で大きな問題は、

少子化に伴う18歳人口の

減少である。長年、減少

傾向にある18歳人口が

2018年から急減してい

く「2018年問題」が

いよいよ到来した。ここ

数年、全国の18歳人口は

120万人台で横ばいで

あったものが、2018年

に118万人、2025年

で、地方の大学が生き残っ

ていくためには、大学や自

治体、地域社

会が一体と

なって、地域活性化を進めな

がら地域に学生を呼び込むこ

とが重要となっている。青森

市には6つの大学・短大があ

るが、平成29年に大学や地域

の活性化に連携して取り組む

ため、6大学等と青森市、青

森商工会議所が協定を結び、

経済雑感 第一〇一回

公立大学法人 青森公立大学

理事長 八桁 幸男

前号に引き続き、青森公

立大学の八桁理事長による

経済雑感をお送りする。



公立大学法人 青森公立大学
理事長 八桁 幸男 氏

福祉の増進、
共同研究など
に取り組んで
いる。

この中で、
昨年「6大学
生の消費活動による経済効果
の推計」をテーマに取り組ん
だ共同研究についてご紹介し
たい。各大学等の1年生を対
象に、住居費、食費、交通費
などの消費額のアンケート調
査を実施し、その結果を基に

今年度の団地内美化活動終了

今年度最後となる問屋町合同清掃が10月10日(木)に開催され、組合員及び関連企業従業員208名によりごみ拾いや草刈り作業が行われた。同清掃活動は4月から10月まで全7回実施されたが、今年度は天気恵まれ一度も延期することなく活動を終えることができた。124社から延べ1,493名が参加し、団地内の景観美化が図られた。

また、10月20日(日)には問屋町緑のボランティア隊による今年度最後の活動が実施され、隊員とその家族18名が参加した。今回は問屋町南側枝線道路の下枝刈りと街路樹の除草作業を実施。今年度の活動は計3回行われ、延べ87名が参加した。同隊は除草作業のほか団地内緑地への花苗植栽も実施しており、問屋町の景観美化推進に尽力している。そのほか、10月1日(火)



合同清掃で草刈り実施



問屋町緑のボランティア隊



エアテックボランティア清掃

には問屋町に隣接する(株)エアテックとその関連会社による地域貢献ボランティア清掃活動が行われた。120名の参加者により同社周辺及び問屋町大通りまでの広範囲にわたるごみ拾いを行った。同社は問屋町緑のボランティア隊の活動にも参加するなど、問屋町の景観美化に大きく貢献している。問屋町の美化推進活動は組合員及び関係各社の協力により年々活発化してきており、次年度以降も積極的に推進する。

団地企業訪問

今回は(株)日立物流東日本東北営業部青森係の小松係長にお話を伺った。

同社は日立製作所の輸送業務を請負う子会社として昭和37年に茨城県に設立。貨物の輸送・配送や精密機器・重量品などの運搬・搬入、電機機器の組立・梱包・発送等を主な事業内容とし、茨城県及び東北6県を中心にお客様の物流業務をフルサポートしている。また、日立物流グループのネットワークを生かし、国内物流のみならず国際物流についても質の高いサービスを展開している。

「日立物流グループは3PL(システム物流)の先駆者として、

豊富な実績に基づく提案力でお客様の物流ニーズにお応えし常に進化の歩みをリードしています。資材調達・生産から、販売や流通、アフターサービスまで様々な物流業務を包括的に受託し、物流合理化を実現いたします。また、物流業務のアウトソーシングによりコスト低減を可能とし、お客様のコア事業拡大を支援いたします」と話す。



(株)日立物流東日本青森係 係長 小松 雄二 氏

全かつ確実に輸送・移設します。日立物流グループ全体では佐川急便との協創で両社の強みを組み合わせた事業拡大により、多様化するニーズに対応していきます」と力強く語る。自身の今後の目標について聞くと

「重量機工の取扱いを主とする青森係では、屋外での作業が多く天候等に左右されることもあり社員の勤務時間が長くなつて

イントについて何うと「青森係では主に重量機工の搬入出を行っている。工場内の機械設備、MRI等の大型医療機器やエレベーター等、長年培ってきた高い専門技術とノウハウで最新鋭の特殊機材を駆使し、安

し、まうことが多いため、今後は働く環境を整え社員が早く帰宅できるような環境にしていきたいです。とても達成感のある仕事なのでその魅力に磨きをかける職場づくりと青森出身の人材育成に注力していきたいです。」と答えた。

(54歳)

編集後記

10月のリノベーション・モデル施設として見学に行った秋田市「亀の町」の公共施設視察は刺激的でした。ウィークデーに関わらず満席の中古物件のカフェ。今年オープンしたヤマキウ南倉庫は、おしゃれな家具店・輸入ぬいぐるみ店など面白い複合施設でした。このリノベーションにより「亀の町」エリアの価値が高まったそうです。これを仕掛けた秋田市のデザイン会社シービジョンズ代表・東海林氏のエリアマネージメント力に脱帽です。転話題。今回も歴史・文化テーマの第4回、青森県の「大石・石神信仰」についてです。小館裏三の「津軽の民間信仰」によると「石は重くて魂がこもるといふ信仰は、さらに巨巖・大石に神霊が宿り、神聖な場所として信仰の対象となる。このことは岩座りわくら信仰として全国的見られる」とあります。青森県では、岩木山の北側の赤倉から大石神社そして北麓の巖鬼山神社と続く、信仰のラインがあります。このラインは、北に延長すると岩木川・川倉地蔵(五所川原市)・十三湖となり、岩木山古信仰の聖ラインとも呼べるラインです。次に石神信仰の代表が青森市内にはない石神様です。この石神様は、近年発見された青森市のストーンサークルの小牧野遺跡の後背地にあります。この入内石神様は、現在では参拝者は希少となつていますが、その奇妙な巨石群は江戸時代から信仰されていたそうです。ご神体は火山性の三メートル近い巨塊です。何度か参りましたが、一人では往けない、行きたくない、パワースポットのな気味な場所です。「津軽の民間信仰」は多様です(藤本)

Advertisement for Yamazaki Pork. It features a pig icon and text: '黒豚50% X 白豚50% あっさりした脂質と優れた肉質。青森県三沢牧場が育てたハイブリッドポーク! やまざきポーク 食肉総合卸 いしおか 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3-5-25 http://www.lsioka.co.jp 商品のお問い合わせは TEL 017-739-8129 FAX 017-739-4441'.